

競技注意事項

0922訂正版

1. 競技規則について

- (1) 本大会は、2025 年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。
- (2) 本大会はWRk 対象競技会として申請しており、WRk 対象種目は投てき種目とリレー以外の全種目とする。
- (3) 同時申込については、競技を行うべき順序の際に競技者不在の場合、試技時間が過ぎたら「パス扱い」とする。

2. 練習について

- (1) 練習は、プログラム記載の指定された会場で練習会場使用日程・注意事項に従い実施すること。
- (2) 練習会場では、競技役員・練習会場係の指示に従うこと。
- (3) 投てき練習は、必ず引率責任者が付き添い危険防止に努めること。指定された場所・時間以外の投てき練習は禁止する。
- (4) 投てき練習用具は各自用意すること。

3. 競技場および競技用靴について

- (1) 主競技場・補助競技場の競技走路及び助走路は全天候舗装である。
- (2) 競技用靴底のスパイクの数は 11 本以内とする。スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は 12mm以下とする。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない(WA 競技規則 TR5)。
- (3) 競技用靴底の最大の厚さは、トラック種目について 20mm、フィールド種目について 20mmである。
ただし、競歩競技は道路競技と同じ40mm以内とする。
- (4) フィールド競技用靴の前の部分の中心点の靴の厚さは、踵の中心点の靴の厚さを超えてはならない。
- (5) 審判長が疑義を抱いた場合、競技開始前、競技中、または競技終了後に競技用靴の検査を行う場合がある。
- (6) 競技用靴規定に違反して競技を行った場合は失格とする。

4. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは主催者が配付したもの(胸・背2枚)使用し、そのままの大きさをユニフォームにつける。ただし、跳躍種目に出場する競技者は胸部または背部だけでもよい。
- (2) トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバー標識を TIC で受け取り、左右の腰につける。ただし、4×100mRは4走のみ、4×400mRは2～4走のみ左右の腰につけることとする。
- (3) 3000m・5000m・3000mSC・5000m競歩については胸背部特別ナンバーカード(腰ナンバー標識含む)を使用する。出場選手は、招集開始時刻1時間前までに TIC まで受け取りに来ること。その際、学校受付時に配付した正規アスリートビブスを持参すること。
- (4) 腰ナンバー標識、特別ナンバーカードは回収しない。

5. 招集について

- (1) 招集所は第1ゲート(100m スタート付近外側)に設ける。ただし、棒高跳については現地招集とする(競技場平面図参照)。
- (2) 招集開始及び完了時刻は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

種 目	招 集 時 間	招 集 完 了
ト ラ ッ ク 種 目	25分前	15分前

走高跳・走幅跳・三段跳	55分前	45分前
棒高跳	1時間40分前	1時間30分前
砲丸投・円盤投・やり投	55分前	45分前
ハンマー投	1時間前	50分前

- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- (4) 競技者は招集開始時刻に招集所で待機し、最終点呼を受ける。その際にアスリートビブス・スパイクの数と長さ、靴底の厚さ、商標等の点検を受けること。
- (5) 競技者は電子機器類(映像装置・オーディオ機器・通信機器・携帯電話やスマートフォン等)を招集所及び競技区域(競技エリア)内に持ち込むことは出来ない。
- (6) 代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ【多種目同時出場届】に必要事項を記入し、招集開始時刻までに招集所競技者係に提出すること。【多種目同時出場届】は TIC で配付する。

6. 欠場について

出場種目を欠場する場合には、招集開始時刻までに【欠場届】を招集所競技者係に提出すること。【欠場届】は TIC で配付する。

7. 競技区域(競技エリア)への入退場について

- (1) 競技役員の指示に従い入退場し、規律ある行動をとるよう心がけること。
- (2) トラック競技出場者については、次の通りである。
 - ①招集所から競技者係の誘導により入場する。
 - ②競技終了後、フィニッシュ地点付近のゲートから退場する。衣服等については補助員が運搬する。
なお、4×100mR については、第4走者のみ運搬する。
 - ③4×100mRの1～3走は各スタート地点に戻り、それぞれのゲートから退場する。
- (3) フィールド競技者については、次の通りである。
 - ①招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
 - ②跳躍及び投てき競技役員の誘導により各ゲートから退場する。

8. トラック競技について

- (1) トラック競技予選の組・走路順は主催者が抽選し、プログラムに示す。
- (2) トラック競技の決勝の走路順は主催者が抽選し、招集所に掲示する。
- (3) 全てのトラック競技種目は写真判定(1/100秒)で行う。
- (4) 100m・200m・400m・800m・100mH・110mH・400mH・4×100mR・4×400mR の同タイム者及びチームについては、1/1000秒まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できない場合は、本人または代理人により抽選を行う。抽選対象者(チーム)は呼び出し放送後10分以内に指定場所へ集合すること。
- (5) 1500m・3000mSCの同タイム者については、次のラウンドに進出させる。

9. リレー競技について

- (1) リレー競技に出場するチームは、【リレーオーダー用紙】を各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前までに、招集所に提出する。また、決勝においてもメンバー・オーダーの変更の有無に関わらず【リレーオーダー用紙】にオーダーを記入し、予選に準じて招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。提出なき場合は棄権とみなす。【リレーオーダー用紙】は TIC で配付する。
- (2) リレー競技においては、同一チームの競技者は原則同一のユニフォームを着用する。ただし、色やデザインが同様で同一のチームと判別可能であれば、形状が異なるユニフォームを着用しても良い。

10. フィールド競技について

- (1) フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示す。
- (2) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りである。(天候等の条件により変更する場合もある。)

		練習	最初の高さ	バーのあげ方				
走高跳	男子	1.80m 1.95m	1.85m	1.90m	1.95m	1.98m	2.01m	以後 3cm
	女子	1.45m 1.58m	1.50m	1.55m	1.58m	1.61m	1.64m	以後 3cm
棒高跳	男子	3.70m 4.30m	3.80m	4.00m	4.20m	4.40m	4.50m	以後 10cm
	女子	2.70m 3.20m	2.80m	3.00m	3.20m	3.30m	3.40m	以後 10cm

- (3) 第1位決定のためのバーの上げ下げは走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。
- (4) 棒高跳出場者は【支柱位置(アップライト)申告書】を TIC で受け取り、招集時に持参し招集完了後に現地競技役員に提出すること。提出後の変更は棒高跳競技役員に申し出ること。
- (5) 三段跳の踏切板と砂場の距離は、男子12m、女子10mとする。

11. 警告について

- (1) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該協議会から除外される。警告はイエローカード(以下、YC と示す)、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。この場合他種目との合算はなく、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。
- (2) 同一種目で2回の YC を受けた競技者は、該当種目を失格とする。ただし、それ以後の他の種目の出場は可能である。YC の累積は、該当種目にのみ適用する。

12. 競技用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。
- (2) 個人所有の棒高跳用ポールは検査に合格したもののみ使用できる。
- (3) やり投競技において、競技者所有のやりの持ち込みを次の条件のもとに認める。
 - ①検査に合格する。
 - ②全出場者が公平に競技会で使用できる。
 - ③主催者が検査の合否にかかわらず、競技終了まで借り上げる。
 - ④競技会使用により破損しても主催者の責任は問われない。

以上の条件を理解した上で持ち込みを希望する学校・選手は、競技開始120分前から90分前に TIC に提出し検査を受けること。返却は預かり証(検査時発行)と引き替えに、各競技終了後、現地で返却する。

- (4) 練習で使用する投てき用器具は、各自で用意すること。

13. 入賞・表彰について

- (1) 各種目の入賞は、第8位までとする。
- (2) 各種目3位までに入賞した競技者(チーム)は競技終了後に表彰式を行うので、表彰者控え場所に待機すること。
- (3) 4～8位までの入賞者(チーム)は TIC に賞状を取りにくること。

14. 抗議について

WA競技規則TR8による。ただし、抗議は各都県監督のみが行えるものとする。

15. 助力について

WA競技規則TR6による。なお、スタンドに設置するコーチングエリアから映像機器等を競技者に手渡して映像を見せることは認めるが、安全に注意すること。主催者側は映像機器等の落下による破損等の賠償は負わない。

16. 商標について

競技場内に下記規定以外の製造会社名・ロゴがついた物品を持ち込むことは、規定に抵触するので慎むこと。

- (1) 上衣・下衣(ユニフォーム、Tシャツ、タイツ等)
学校名／ロゴ：上衣は前後に1つずつ、下衣は1つのみ、大きさは問わない。
製造会社名／ロゴ：上下1つずつ、40 c m以内、高さ5cm以内。
- (2) バッグ
製造会社名／ロゴ：40 c m以内、高さ5cm以内。
- (3) ソックス・手袋・帽子・リストバンドなど
製造会社名／ロゴ：1カ所、6 c m以内、高さ3cm以内。
- (4) 競技者が競技中に衣類を2枚重ねて着用する(例えばベストの下にTシャツを着用する・ショーツの下にタイツを着用する)場合には、下に着用している衣類が露出していれば、広告その他の表示があってはならない。

17. TIC(総合案内所:主競技場正面入り口)の業務及び提出書類等について

※各配付書類はTICで受け取ること。

配付書類及び業務	受付場所・提出場所	提出及び受付時間
アスリートビブス配付	TIC	10月17日(金) 12:00~17:00 10月18日(土)以降 7:00~16:00
長距離特別ナンバーカード	TIC	招集開始1時間前までに正規アスリートビブスを持参して受け取ること
多種目同時出場届	招集所競技者係	招集開始時刻まで
棒高跳支柱位置申告書	現地競技役員	招集時に招集所に持参し、競技会場にて提出
欠場届	招集所競技者係	招集開始時刻まで
リレーオーダー用紙	招集所競技者係	1組目の招集完了時刻1時間前まで
遺失物保管	TIC	随時
記録証交付	TIC	随時(1部 500 円)
4位~8位の賞状配布	TIC	随時(記録発表 30 分後から)
撮影許可	TIC	随時
抗議申立(口頭)	TIC	正式記録発表後 15 分以内(予選) ※3000mSCは30分以内とする。 正式記録発表後 30 分以内(決勝)
上訴申立書(文書) (預託金 10,000 円)	TIC	審判長裁定後 15 分以内(予選) ※3000mSCは30分以内とする。 審判長裁定後 30 分以内(決勝)

18. 施設利用について

- (1) 主競技場・補助競技場・球技場の使用時間は練習会場日程表の記載時間とする。
- (2) 参加校の待機場所は、各都県に割り当てられた場所及びフリー設置可能エリアを使用すること。待機場所にテープを貼る場合は養生テープのみ使用可とする。ガムテープ、テーピングテープは不可とする。

- (3) テント設置は別紙に記載のとおりとし、許可された場所以外に設置することは厳禁とする。
- (4) 主競技場での横断幕設置については別紙「山梨大会について」を参照すること。のぼり旗の設置は1校2本までとする。

19. 応援について

- (1) 声を出しての応援も認めるが、基本的な感染症対策については引き続き協力をお願いする。
- (2) スタート時の応援は禁止とする。また、各フィールド種目実施場所やリレーのバトンゾーン付近での集団応援は禁止する。
- (3) 正面スタンドでの集団応援は禁止する。

20. その他

- (1) 競技会で発生した事故等については、主催者側で応急手当てをするが以後の責任は負わない。
- (2) 貴重品は各自で責任をもって保管し、盗難紛失等に十分に注意すること。
- (3) ADカードがない者は主競技場及び各練習会場内に立ち入ることはできない。競技者以外の者はトラック・フィールドに絶対に入らないこと。ただし、大会前日の17日(金)はAD規制を行わない。
- (4) 主競技場のスタンドにコーチングエリアを設けるのでその指示に従うこと。
- (5) 競技場内では、指定された場所以外には荷物は置かないこと。
- (6) 競技者は当該競技場所を勝手に離れることはできない(トイレ等で離れる場合には競技役員の指示に従うこと)。
- (7) 競技者は競技役員の指示に従い事故等のないよう留意すること。また、「組」「試技順」を確認し競技進行に協力すること。
- (8) ゴミは原則として各自の持ち帰りとする。
- (9) 公園利用者に迷惑となる行為は厳に慎むこと。
- (10) 大会参加に際して提供される個人情報は大大会活動のみに利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。